

防災まちづくりを進めています

～ 袋路の2方向避難等にご協力ください! ～

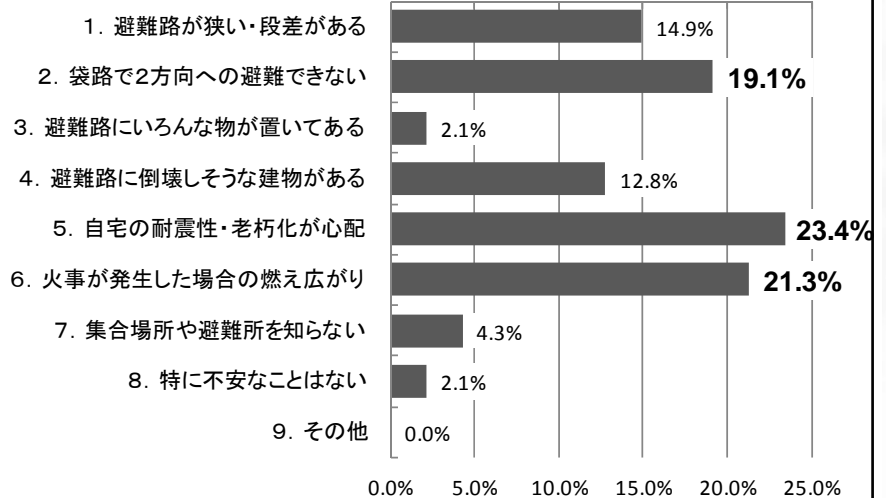
平成24年度に、六原学区では、『六原学区防災まちづくり会議』を立ち上げ、路地のまちあるき調査や、路地の安全性を高めるために今すぐに行えることを検討し、所有者が協力して頂ける路地において、2方向避難ができるようにブロック塀に緊急用のドアを設置しました。

また、『第4回 六原住まいの応援談』の参加者のみなさんへアンケート調査を行ったところ、「自宅の耐震性を高めたり」、「2方向避難を確保する」ことが重要であるとの回答が寄せられました(右グラフ参照)。

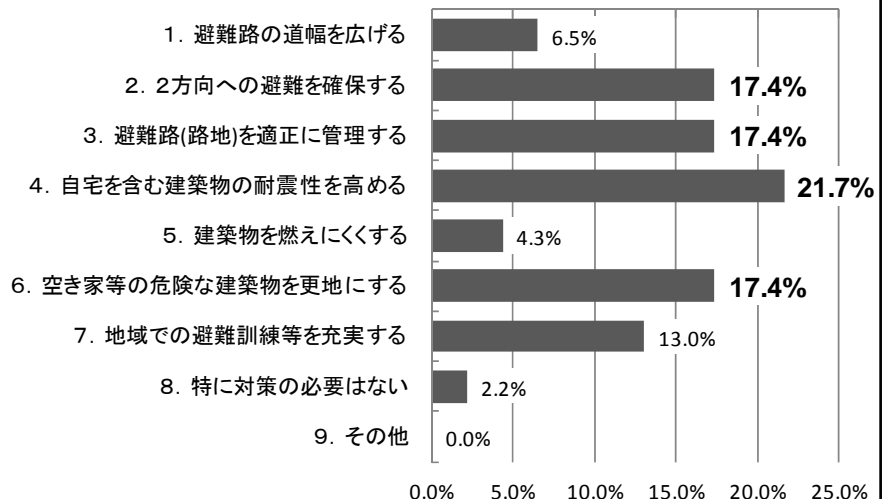
今後は、こうした結果を踏まえ、建物の耐震化や路地の安全性を高める活動を地域の方と協力しながら進めていきます。

特に、袋路の2方向避難については市の助成制度もありますので、ご協力頂ける方は、お気軽に『六原学区防災まちづくり会議』(裏面参照)のメンバーまでご相談ください。

問. 地震災害等が発生した場合に、ご自宅周辺で心配なこと(複数回答)



問. 心配を解消するために必要な対策(複数回答)



■ 『六原住まいの応援談』 で防災まちづくり活動について報告しました。

平成25年2月21日、六原まちづくり委員会による『六原住まいの応援談』で、六原自主防災会の活動や『六原学区防災まちづくり会議』（下記参照）が進めている防災まちづくり活動について報告・意見交換を行いました。

当日は、地域住民の方々やまちづくりに取り組んでいる方を中心に約60名の方が参加され、路地が多く残る六原学区の防災上の問題や課題を共有し、安心して住み続けられるためのまちづくりの必要性を再認識しました。



坂田会長による自主防災会の活動報告



尾崎さんによるまちあるきの報告



堀尾さんによる対策の必要性の提案

■ 『六原学区防災まちづくり会議』 とは？

京都市等と連携して、地域の安全・安心に向けた防災まちづくりに取り組むため、六原自主防災会が中心となって昨年夏に結成された組織です。

『市民しんぶん』（平成25年2月1日号）でも紹介されました。



六原学区防災まちづくり会議

会長 坂田 榮一さん(写真左)
副会長 一條 勝廣さん(写真右)

【問合せ】

六原学区防災まちづくり会議
☎ 561-9680
FAX 561-9720

市民活動団体からの
一言メッセージ

みんなに
伝えたい!

私たちの暮らす六原学区(東山区)には細い路地が多く、その沿道に木造住宅が建ち並んでいます。これらの住宅は趣ある風景である一方、地震発生時に倒壊する恐れがあり、特に行き止まりになった路地では、避難経路をふさいでしまう可能性があります。

私たちは、このような現状を改善するため、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。実際にまちを歩き、路地の道幅の測定や行き止まりの状況調査を実施。その結果を踏まえ、緊急用のドアの設置や避難経路の確保など、安全性を高めるための方法を会議で検討します。実際には、沿道に暮らす方の理解を得たり、学区をまたがる場合の調整に苦慮したりと、大変なことも多いですが、根気強く取り組み、一つでも多く改善できればと思っています。そして、その成果を住民の皆さんに発信することで防災に関する理解を深めてもらい、より住みやすい地域を目指します。

